

新幹線開業に向けて

今まで出来ていたことが当たり前ではなくなり、不便もありました

が、出張や会議のかたちが変わり、家族との時間が増えるなどプラスになることもありますね。そんな

2020年でしたら、新幹線開業が2022年秋に決まるという明るい話題もありました。新幹線開業で生活や事業活動にどのような変化があると思いますか？

広がると思います。武雄に寄つてもらえるような魅力を打ち出す工夫をしていきたいです。

さらなる魅力の向上

地域で支えあい、知恵を出し合う地域内循環を目指しつつ、外とつながることも重要になってきます。

観光だけではなく、周辺地域の強みを生かした其存共榮のエリアづくりを行っていく必要性を感じています。今や新型コロナウイルス感染症は、全世界共通の課題になっています。共通の課題に対してもどう克服していくか。世界とつながることと、近隣市町とつながることあまり変わりないかもしれませんね。

そのようなつながりを持ちつつ、武雄温泉駅が通過駅とならないための魅力を作るには何が必要だと思いますか？

武雄青年会議所は5年前に50周年を迎え、今後10年どうしていくかを考えています。これから武雄市を考えると、海外とのつながりが重要になります。これからの武雄市を考えて、今後10年どうしていくかを考えていました。武雄市に観光客を呼び込む事業や、魅力を伝えるおもてなしを考えていく予定です。

「西九州のハブ都市」として、それぞの団体の枠にとらわれず、地域間での連携を大事にしていきたいと考えています。市内団体だけではなく、近隣市町とも、それぞれの強みを活かしながら、地域を盛り上げる仕組みができれば面白いですね。

近隣市町と連携し、まちづくりを考える機会があれば、事業の幅も

子どもたちが気軽に遊べる環境があればもっと住みやすく、魅力を感じられると思います。温泉や食べ物など、施設的なものよりも、温ぬくもりを感じたときに魅力を感じるひとが増えたのではないかでしょうか。

具体的な物や建物というよりも、自分たちが外に求めているものが、あると便利ですね。それを目的に観光される方も増えるような気がします。

若手リーダーとして

西九州のハブ都市として、ビジネスや観光における拠点性が高まり、まちの賑わいや民間の投資が期待されます。市では白岩運動公園と新体育館の整備を進めており、魅力的な場所を目指しています。魅力的な場所とは、目的が終われば帰るのでなく、家族で来てエリアとして一日過ごせるような場所。市民の皆さんのもっと便利に、もっと楽しくなければいいと思っています。

これから、さらなる魅力の創造に向けて、武雄の未来を担う若手リーダーとしての抱負を教えてください。

武雄青年会議所は、今年55周年を迎えるにあたり「共創」をテーマ

に掲げています。

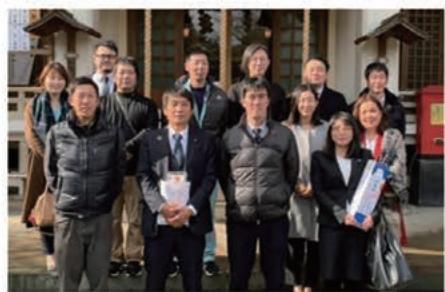
地域の皆さんと共に活動していく

たいです。

武雄市商工会青年部では、今年は組織を見直し、新たな組織を作ろうと思っています。私たちは様々な活動を行っていますが、認知度が低いことが課題でした。今後はSNSで情報発信していく仕組みをつくり、子どもから高齢者まで年齢層関係なく関わりながら、地域に根差した事業を目指しています。

昨年11月に公共空間の在り方を探る社会実験のひとつとして「千夜市」を開催しました。若い来場者が目立ち、聞くとSNSで知ったこと。イベントへの関わり方は様々ですが、見に来ることもイベントに参加することの1つと思っています。市民の皆さんや団体が気軽に関わることのできる仕組みを作り、新幹線開業に向けた新しい「連携元年」として、それぞれの団体で、行政とは違うつながりや、横のつながりを広げていけたらいいですね。市としても大きな視野を持ち「西九州のハブ都市」として盛り上げていきたいと思います。

全国、世界中から多くの方に来ていただける武雄市と一緒に創っていきましょう！



武雄商工会議所 青年部

1988年設立。現在会員数8名。若い新しいエネルギーを結集し、組織活動を実践に活かしながら事業活動の充実活性化を図る。他県の青年活動や経済活動の視察、地元イベントの補助などを行っている。

武雄青年会議所

1967年設立。現在会員数27名。事業目標に「よりよい武雄市のまちづくり」と「修練」を掲げる。目標実現のため、本年度は「共創～新たな価値を生み出そう～」をスローガンに3つの委員会に分かれ活動を行っている。

武雄市商工会 青年部

2009年設立。現在部員数31名。地域の未来を支える若手経営者・後継者として、資質の向上を目指すとともに、地域社会の発展に貢献することとして、子どもの見守り隊活動や地域イベントへ協力している。